

【SRA Holdings】Special Mail (No.195) 2021年5月

(株)SRA ホールディングス代表取締役社長の鹿島です。

本日、2021年3月期決算を発表しました。

併せて「剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」、「決算付属資料」、

「2021年4月 月次売上高速報」も発表しました。

今回の発表の要点は以下の通りです。詳細は発表資料をご覧ください。

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/>

[2021年3月期決算]

(1) 2021年3月期(2020年度)業績 前年同期比

■売上高＝減収

■収益＝粗利益：ほぼ横ばい、粗利益率：向上

営業利益、経常利益、当期純利益いずれも増益

■配当金

営業利益および経常利益が通期業績予想値を上回る結果となったことから、

株主還元の更なる充実を図ることを目的に、

期末配当金を 10円増配の 1株当たり 80円(普通配当)とし、

年間配当金を 120円(普通配当、配当性向 48.2%)としました。

◎売上高：393億86百万円(9.8%減)

主な要因

- ・開発事業(6.3%減)：金融業、サービス業で増加したものの製造業が減少
- ・運用・構築事業(3.9%増)：企業向けが増加
- ・販売事業(18.9%減)：(株)AIT及び(株)SRA、海外子会社の機器販売が減少

◎粗利益：95億3百万円(0.9%減) 粗利益率：24.1%(前年 22.0%)

主な要因：高付加価値ビジネスへの移行推進

◎営業利益：50億26百万円(1.6%増) 営業利益率：12.8%(前年 11.3%)

主な要因：コロナ起因による営業活動の効率化

◎経常利益：52億68百万円(6.4%増) 経常利益率：13.4%(前年 11.3%)

主な要因：為替差益を主とした営業外収益の増加

◎当期純利益：30億73百万円(前年は6億12百万円の損失)

主な要因：投資有価証券評価損の大幅減

(2) 2022年3月期(2021年度)業績予想

◎売上高 420億円、営業利益 50億円、経常利益 47億円、当期純利益 29億円

◎配当金＝株主還元の更なる充実を図るべく、従来通り配当性向 50%を目処に、
〔安定的な高配当〕を目指す

1株当たり配当金＝年間 120円(普通配当 120円:中間配当 40円、期末配当 80円)を計画
配当性向 50.2%を予想

- ◆2022年3月期の連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症の収束時期を合理的に見積もることができないため、確度の高い業績予想を算出することは難しく、現時点で想定できる影響額のみを踏まえたものとなっております。
今後の新型コロナウイルス感染症の収束状況により、業績予想を変更する可能性があります。

〔2021年4月期売上高〕

(株)SRA、(株)AIT、国内子会社、海外子会社

＝一部出遅れている会社があるものの堅調にスタート

<発表資料> https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2021.html

今年度も足元の状況をお知らせすべく「月次売上高速報」は引き続き毎月、皆様に公開してまいります。「良い情報はもとより、悪い情報もいち早く公開する」という当社のスタンスに変わりはありません。

皆様には引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。